

編 集 後 記

編集委員を平成 25 年 5 月に拝命し、同年 11 月に引き続き 2 回目の編集後記を記させていただきます。この間本誌は完全に電子ジャーナル化して、冊子体はなくなりました。毎月 e-mail で臨床神経学が発刊された通知が神経学会より届く様になり、その号の目次と内容をすぐさまに見ることができ、また各論文は pdf ファイルとしてダウンロードして、検索可能な情報として保存することができます。同様に現代は、最新の情報だけでなく過去の情報もほぼ瞬時に検索して入手できるようになりました。かつては大学の医学図書館に行き毎月の雑誌をチェックしていたことは今やコンピュータの前ででき、正書や非常に古いあるいは特殊な紙媒体を検索する以外は図書を閲覧する目的で図書館を訪れることは極端に減っていると理解します。

これだけの情報を我々は正しく活用できるか、あるいは溢れる情報はおそらく玉石混淆であり、有用な情報を本当に見極めることができるか否かは、情報を享受する我々にかかっています。医学雑誌特に臨床系の情報は患者さんの診断治療に関わる情報でありその質が問われます。そのために確実に有用な方法は信頼できる情報ソース即ち雑誌の論文を利用することです。2013 年 10 月の Science に

「Who's Afraid of Peer Review? A spoof paper concocted by Science reveals little or no scrutiny at many open-access journals」という特別記事で open-access journal の査読の質を憂う内容が示されていました。本誌は厳しい査読のなかで良質で重要な情報を社会に今まで提供してきて、その素晴らしい伝統が引き継がれています。邦文雑誌のなかで「臨床神経学」程に投稿数が多く良質の論文が掲載されているものはない、という声を良く聞きます。この信頼は先達の編集委員の先生方の不断のご努力により長い時間をかけて作られたものですが、一旦少しでも不良な内容が混じると瞬く間に信頼を失います。そのことを肝に銘じて本雑誌の編集委員であることを誇りとして貢献できるよう努力する所存です。投稿者の皆様も同様のお考えをお持ちのことと思います。査読者の先生方にとっては、「早く査読すること」と「十分に吟味して査読する」という両者を満たすには大変世知辛い世の中になりましたが、査読は「臨床神経学」という「極めて良質な邦文原著雑誌」の現在と将来を担う最も重要な学会活動として御協力頂きます様にお願い致します。

池田 昭夫

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 鈴木 則宏 編集副委員長 河村 満
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡
 瀧山 嘉久 西野 一三 野村 恭一 星野 晴彦
 編集委員(幹事兼任) 園生 雅弘 高尾 昌樹 森 秀生

「臨床神経学」 第55巻 第3号 平成27年3月1日発行
 編集者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会
 発行者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 高橋 良輔
 印刷所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>